

宇都宮市立陽西中学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習意欲を高め、学力向上を目指した指導の充実	<p>「一人一授業」の実施や、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりの実践を通して、より多くの生徒にとって、わかりやすく学びやすい授業作りを心がけ、授業力向上にも努めた。</p> <p>定期テスト前の期間に、放課後の時間を利用し、「質問学習」として各教科の担当教師にわからないところを質問する時間を設けた。</p> <p>数学の入試対策用のプリントを複数用意し、生徒が自由に持っていき学習できるように、廊下に配置した。</p> <p>平日の放課後1～2時間程度、希望者に対して数学を中心とした「レベルアップ学習」を行い、質問をしたり自習をしたりする時間を設けた。</p> <p>希望者を対象に、地域協議会与学校の共催で、月に2回程度「土曜学習サポート」を実施し、学習指導員を配し、2時間程度学習の時間を設けた。</p>	<p>・「授業を集中して受けている」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が、3年では9割を超えた。また、「授業の始まりには席についている」「授業に必要な学習用具は忘れずに持ってきている」などの項目においても市の平均と同等まで引き上がっている。しかし1・2年においては、宇都宮市の平均値を下回っており、今後生徒の学習習慣を確立させていく必要がある。教師側も生徒が興味関心を持って主体的に取り組める授業力の向上を目指していく。また、チームティーチングやICT機器の効果的な活用などを通して、教職員がチームとなって、生徒一人一人にとってのわかりやすい授業を構築できるよう研修を重ねていく。</p> <p>・「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している」「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」の各項目において、わずかながら市の平均を上回っている。ソーシャルディスタンスを保ちながら、さらに様々な方法・形式での「対話」(グループ活動)に取り組み、主体的・対話的に学習に取り組む生徒の育成に努める。</p>
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	<p>年度初めに、家庭学習の仕方や「自主学習ノート」の取組についての資料を配布した。特に1年生にはパワーポイントを使い、やり方などを詳しく説明した。</p> <p>「自主学習ノート」は、毎日提出を原則とし、担任が最終チェックを行い、その後の指導に生かしている。</p>	<p>・「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の質問では、各学年ともに宇都宮市の平均を下回っている。学年当初に各教科で授業の復習や自主学習の仕方などを丁寧に教え、実践する時間を作り、自主学習のやり方を習得させる。また、保護者の協力も得ながら、家庭学習の習慣化を図っていく。</p>

★市の調査結果を踏まえての次年度の方向性

- ・次年度も、基本的には今年度の取組を継続させる。「レベルアップ学習」「土曜学習サポート」「質問学習」に加え、「夏季休業中の学習サポート」なども行い、様々な場面での生徒の主体的な学習を促し、基礎学力の定着、学力向上を目指す。
- ・小中一貫教育による学習指導の取組で、学校園全体の目標を見直し、家庭学習などのやり方や自主学習ノートの有効活用などを、小中で連携して指導していく。